資料 12

校外学習時における緊急体制 (例)

アナフィラキシー ショックが疑われたら

~エピペン®注射が必要と判断した場合~

- ★エピペン®使用時の目安
- ・全身性のじんましん・呼吸がゼーゼーする
- ・ぐったりしている・血圧・意識の低下

施設対応 傷病者対応 支援体制

傷病者発生

管理職 判断 学級担任 養護教諭 救急車要請 救急処置 → ・養護教諭ともに 施設への依頼 バイタルチェック→ 応急手当 • 救急処置可能な · 記録 (発生記録、症状) ・エピペン®注意事項確認 エピペン®用意 場所の確保 エピペン®注射補助 • 救急車誘導依頼 ・エピペン®注意事項確認 · 二人体制 エピペン®片付け エピペン®使用時は 児童生徒に声をか ・学校へ連絡 け、座らせて、又は ・保護者へ連絡 寝かせて足を固定 する。 救急車搬送、同乗・引率 養護教諭 | 本児に引率 経過と対応の報告 病院到着 健康情報等の伝達 エピペン®の処分依頼

引率職員

他の児童生徒の誘導 待機時の安全 指導と心のケア

旅行業者と 以後の日程の確認 ほかの児童生徒対応

管理職

第1報:病院の住所と電話番号

- ①学校へ→教育委員会へ
- ②保護者へ
- ③学級担任へ

第2報:児童生徒の健康状態、処置状況

- ①学校へ
- ②保護者へ
- ③学級担任へ